

2. 具体的テーマについて

本日の合同部会では「遊水地保全・再生」部会より「イノシシ対策」、「外来種対策」を、「人々の交流・教育・普及啓発」部会より「教育・普及のための教材づくり」を、以上3つのテーマを取り上げる。

「遊水地保全・再生」部会のもう一つのテーマである「ゴミ対策」については次回以降のテーマとする。

(1) イノシシ対策について

第1回合同部会では、渡良瀬川周辺での被害を取り上げたニュース映像と共に、イノシシが渡良瀬遊水地に生息した場合の問題点を取り上げた。

① 渡良瀬遊水地での対策

○ 看板設置による注意喚起

- ・『イノシシ注意看板』（協議会）・・・資料3

文字を簡潔にし、絵を大きく目立つように修正した。

- ・『イノシシ注意看板設置状況』・・・資料4

② 情報の収集等

○ 通報

- ・ 発見した場合は出張所へ通報し、出張所より市町へ連絡する。

- ・ 通報する際に場所を特定しやすくする工夫

案：『イノシシ注意看板』など、遊水地内に設置された看板設置者へ番号を振ることを依頼する。

○ 情報の収集・提供

- ・ 通報された情報は、協議会、市町を通じて構成員へ提供する。

- ・ 情報の内容

イノシシ出没、被害情報、駆除の状況、遭遇した際の対応方法等

- ・ 今後は情報の一元化を検討していく。

③ 捕獲について

- ・ 渡良瀬遊水地は、国指定鳥獣保護区内のため、捕獲については環境大臣の許可を受ける必要がある。

- ・ 有害鳥獣の捕獲にあたっては市町が担当となる。4県4市2町にまたがる渡良瀬遊水地では、市町間での連携も図っていく。

- ・ 栃木県の取り組み(栃木県自然環境課 HP より)

「シシナビとちぎ」・・・資料5

(2)「外来種対策」・(3)「教育・普及のための教材づくり」について

①検討の進め方について

○ワーキンググループ(WG)による話し合い

グループ分け・・・「グループ分け名簿」参照

- 1)進行役の選出
- 2)テーマ確認
- 3)話し合い
- 4)まとめ
- 5)WG 毎に発表
- 6)全体での意見交換
- 7)次回に向けての検討

②テーマについて

幹事会において、テーマの絞り込みを行った。

○WG・I「外来種対策」について

1)対策の対象とする外来種について

- ・外来種対策については各市町で取り組んできている。その中で早急な対策が必要と思われる外来種について。

参照：資料 6「遊水地保全・再生検討部会・アンケート【要約】(H28.1.27)」参照

セイタカアワダチソウ、アレチウリ等の外来植物
ブラックバスやブルーギル等の外来魚

2)これまでの対策について

- ・現在まで取り組んできている対策について

3)資料の作成について

- ・対策時に配布し活用できる資料を作成出来ないか。

○WG・II「教育・普及のための教材づくり」について

1)対象

- ・小学生とし、学校の授業でも使えるものとしてはどうか

2)題材

- ・来年はカスリーン台風70年であるため、治水をテーマとしてはどうか。

3)形式

- ・持ち運びが便利に、A3二つ折ではどうか。